

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

12月後半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「シロハラ ツグミ科」

冬鳥。全長 25cm。雌雄ほぼ同色。腹が白っぽいのが特徴。暗い林の地上で跳ね歩きながらエサを探す。



「アオジ ホオジロ科」

留鳥。全長 16cm。緑がかった黄色い腹が特徴。地上を跳ね歩き昆虫類や草の種子などを採食する。



「セグロカモメ カモメ科」

冬鳥。全長 61cm。雌雄同色。最も普通に見られる大型のカモメ。漁港周辺で見ることができる。



☆「トベラ トベラ科」☆

常緑低木。果実が割れて粘着質の赤い種が出ている。枝葉はヒイラギの代わりに魔除けとして使われる。



☆「サネカズラ マツバサ科」☆

常緑つる性の木本。暖地の林縁に多い。果実が美しいため観賞用にも栽培される。別名ビナンカズラ。



☆「ヤツデ ウコギ科」☆

常緑低木。葉は大きく掌状に裂けてよく目立つ。花は昆虫に蜜を供給して受粉する虫媒花。



☆「センリョウ センリョウ科」☆

暖地の林下に生える常緑小低木。果実は葉の上につき、マンリョウと共にお正月の縁起物として使われる。



「サルトリイバラ サルトリイバラ科」

林縁などに多い落葉つる性の半低木。茎に刺があり、刺と巻きひげで他物にからみついて茎を伸ばす。



☆「アオノクマタケラン ショウガ科」☆

湿った林下に生える常緑多年草。直径 10mm ほどの実をつけている。縁起物としてお正月飾りにも使われる。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪

年の瀬ですね！大掃除やお正月の準備で忙しい時期となりました。
ビジターセンターは、年末は12月28日（土）まで、年始は1月4日（土）から開館します。
来年も職員一同お待ちしております(^o^)/ どうぞ良いお年をお迎え下さい。

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2024年12月後半号
宇久井ビジターセンター



吉野熊野国立公園 宇久井半島

冬版

フェリーターミナル方面
通行できません

<散策時間の目安>

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒埼灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m

クロサギ
ミサゴ
ヒドリガモ
マガモ



千尋の浜
(上地の浜)

千尋の浜方面

メジロ
キジバト
ヒヨドリ
ウグイス

休暇村
南紀勝浦

外の取



至 R42

セグロカモメ
ウミネコ

自然観察の森

上野展望台
防空監視哨

マルバウツギ
オガタマノキ

蛙子神社跡地

ヤブコウジ
ヤブツバキ

ヒサカキ
モチノキ

ヤマモモ

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ツルコウジ

ヤブツバキ

ヒサカキ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

タイミンタチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

タフノキ

木のすき間から浜が見えます。

灯台まであと4分

駒埼灯台

オオキンカラムシ

地玉(じこく)の浜

松尾展望広場



ハマオモト
ハマダイコン
ハマゴウ
ハマナタマメ

木のすき間から
海が見えます。

ホルトノキ

シロダモ

沢

竹林

ツルコウジ

ウバコリ

シロダモ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

タイミンタチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

タフノキ

木のすき間から浜が見えます。

灯台まであと4分

駒埼灯台

凡例

- 駐車場
- あずまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段